

株主メモ

【事業年度】

毎年11月1日から翌年10月31日まで

【定時株主総会】

毎年1月

【基準日】

毎年10月31日

【株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

【株主名簿管理人事務取扱場所】

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

【郵便物の送付先または連絡先】

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部 電話照会先 ☎0120-782-031

※株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡下さい。

※特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関するお手続きのホームページURL】

<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

【公告方法】

電子公告によって(電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して)行います。

IRページのご案内

当社では、月次売上速報や決算短信などをホームページ(<http://www.his.co.jp>)で公開しております。最新情報を適時掲載しておりますので、ご利用下さい。

株主様ご優待のお知らせ

毎年4月及び10月の末日現在において、株主名簿に記録のある100株以上の株式を所有されている株主の皆様にご優待券をお送りいたします。今回お送りする株主優待券及びハウステンボスご入場割引券は来年(平成30年)の1月31日までご利用になれます。

【株主優待券】

当社、株式会社クオリタ及び株式会社クルーズプラネットの商品にご利用いただける株主優待券です。



100株以上…2枚
500株以上…4枚
1,000株以上…6枚

ご利用にあたっては、ご予約された営業所にご持参またはご郵送下さい。また、当社の商品券「SKY」と併用してご利用することもできます。

【ハウステンボスご入場割引券】

ハウステンボス株式会社が運営する、ハウステンボス(長崎県佐世保市)にて、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上…1枚
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ハウステンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ハウステンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

【ラグーナテンボスご入場割引券】

株式会社ラグーナテンボスが運営する、ラグーナテンボス(愛知県蒲郡市)にて、ご利用いただける入場割引券です。



100株以上…1枚
100株以上の株式を所有されている株主様に一律1枚お送りいたします。

ご利用にあたっては、ラグーナテンボス料金所で入場券をご購入される際に本券をご提出下さい。ラグーナテンボス料金所での購入時のみ利用可となっております。

株主・投資家の皆様へ

H.I.S. Business Report

第36期(平成27年11月1日から平成28年10月31日まで)



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役会長兼社長、最高経営責任者(CEO)に就任いたしました。H.I.S.グループが変化する時代に対応をし、スピーディな意思決定を行うために「攻めのガバナンス実現」に向けて経営執行体制を再編いたしました。時代にあったビジネスモデルの再構築をしていきますので、何卒、ご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当連結会計年度における経営環境は、地政学的リスクや、英国のEU離脱問題などを受けた欧州の不透明感に加え、急激な為替変動などで混沌とする世界経済の中、国内においては4月に発生した熊本地震の影響により一部弱さが見られたものの、景気は緩やかな回復傾向が続きました。旅行市場において、海

外旅行は欧州で発生したテロ事件の影響が依然として強く残りましたが、円高基調や燃油サーチャージがゼロとなるなど、市場環境の変化から、日本人出国者数は前期を上回る結果となりました。国内旅行は、熊本地震や相次ぐ台風・天候不良の影響もあり、弱含みで推移いたしました。一方で訪日旅行においては、訪日外国人旅行客数が平成28年1月から10月累計期間で初の2,000万人を突破するなど、過去最高を更新し、引き続き好調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、お客様への「安全」と「安心」を第一に考え、国内外のネットワークを活用した情報やサービスの提供、品質のさらなる向上に取り組みました。また、新たな価値創造へ向けた様々な挑戦を続け、未来を見据えたスピーディな事業展開に努めてまいりました。主な取り組みにつきましては、本書3ページ以降にTopicsとして記載さ

せていただいております。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高は5,237億5百万円(前期比97.4%)、営業利益は142億74百万円(同71.5%)、経常利益は、為替変動の影響により86億48百万円(同38.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億67百万円(同2.5%)となりました。

世界中に広がる情勢不安や、大幅な為替変動にみられる経済の不確実性など、世界を取り巻く環境は不透明感が続き、当社事業に影響を及ぼす要因が継続すると思われます。加えて、著しく進化を遂げるオンライントラベルエージェントや、新たなC2C型ビジネスモデルの急成長による競争の激化など、市場においても、これまで以上の大きな変化が予測されます。このような環境の中、当社がもつグローバルネットワークとグループにおける相乗効果を最大限に活かし、既存のビジネスのさらなる進化や、M&Aによる新

領域への拡大など、市場の変化にあわせた展開を推進するとともに、生産性や効率性をより意識し、業績のさらなる向上を図ってまいります。ハウステンボスでは、第7の王国として仮想現実(VR)や拡張現実(AR)技術を使った「夢と冒険の王国」を新たにオープンするほか、「変なホテル」の国内外における展開、電力事業の本格的なスタートなど、今後も様々な事業領域において新たなチャレンジを展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年1月

代表取締役会長兼社長

最高経営責任者(CEO) 澤田 秀雄



旅行事業



◀ フランス応援キャンペーン
リリース



◀ 九州専門店 銀座



九州専門店 福岡 ▶



フランス応援キャンペーン
WEBサイト ▶

商品展開においては、テロ以降大幅に減少した欧州行きの観光需要を復活させるべく、フランス観光開発機構や航空会社とのフランス応援キャンペーンを行うなど需要の喚起を図りました。月刊誌「旅通信」でのシニアマーケットの拡充も行い、媒体を通じてのご予約数の増加に繋がりました。また、九州専門店を東京・名古屋・大阪・福岡に出店し、熊本地震からの復興の一助となるべくツアーの送客、物販に力を入れたほか、バリ島専門店や沖縄専門店など、専門性の高い商品やサービスの提供を一層強化いたしました。

法人団体事業



▲ イタリア行き団体案件

世界会議関連の手配 ▶



企業様向けサービスや団体旅行におきましては、海外・国内旅行とも報奨旅行や社員旅行等の受注が増加いたしました。また、現地拠点の強みを活かし、公的機関の世界会議関連の手配を受注いたしました。

国内旅行



◀ 沖縄ビーチパーク

アクティビティジャパン
▼ WEBサイト



今夏にはH.I.S.専用のビーチパークを開設し、引き続き沖縄を強化いたしました。他社にはない優位性ある商品を展開いたしました。また、国内最大規模のアクティビティ予約サイト運営会社アクティビティジャパンをグループ化いたしました。

訪日旅行事業



◀ 東北ツーリスト
サポートカウンター



名古屋ツーリスト
▼ インフォメーションセンター

海外における旅行事業



▲ エチオピアツアーデスク支店



メキシコ▶
グアナファトツアーデスク

FIT型の個人向けパッケージツアーの増加がみられたことから、日帰りツアーやパーツ販売の強化、WEBサイトリニューアルなど個人旅行への対応を進めました。また、復興庁との東北復興案件として仙台空港にインフォメーションカウンターを設置し、神奈川県とのインバウンド観光推進事業など、省庁や地方自治体との連携も図ってまいりました。

各地での旅行博への積極的な出展に加え、多店舗展開を促進しローカルマーケットへの認知度向上に努めました。また、公的機関の世界会議等の手配なども受注するなど現地拠点の強みを活かした展開を図りました。その他、日本の旅行会社として初出店となるアディスアベバ（エチオピア）やグアナファト（メキシコ）などにも拠点を拡充しました。

ハウステンボス



▲「花の王国」アジア最大級ばら園



▲九州一花火大会



▲海上ウォーターパーク



▲「光の王国」世界最大級のイルミネーション



◀「変なホテル」
ギネス世界記録®登録

7月より最先端のロボットを展示・体感できる国内初のロボット複合施設「ロボットの王国」が誕生いたしました。そして、3月に2号棟がオープンした「変なホテル」は、世界初のロボットがスタッフとして働いたホテルとしてギネス世界記録®に認定されました。今後も変化し続けるホテルとして舞浜、ラグーナテンボスをはじめ、海外への進出を計画しております。世界最大1,300万球のイルミネーション「光の王国」においても、スケールの拡大を図るなどイベントを中心とした体験価値の向上に努めました。その他、特別企画として実施した大阪城場外イベント「大阪城ウォーターパーク」は、15万人のお客様にご来場いただくなど活況を呈しました。

また、HTBエナジー株式会社を中心に電力小売事業への参入、販売体制を強化いたしました。

ラグーナテンボス



▲アートシアターでのハウステンボス歌劇団公演



▲フラワーラグーン

全シーズンを通して様々な花を楽しむエリア「フラワーラグーン」とハウステンボス歌劇団が毎日公演する「アートシアター」が誕生するなど、新たなお客様層の取り込みにも注力し集客に努めてまいりました。

ホテル事業



▲グアムリーフ&オリーブスパリゾート



▲ウォーターマークホテル札幌

ウォーターマークホテル札幌において、訪日客をはじめとした団体予約が好調に推移したことに加え、グアムリーフ&オリーブスパリゾート(グアム)では、韓国・台湾マーケットでのシェア拡大が奏功し平均単価が上昇し、売上高・営業利益ともに過去最高となりました。

運輸事業



▲アジアアトランティックエアラインズ

バンkokとプーケット(タイ)から瀋陽(中国)への定期便の運航を週4便で開始したほか、訪日需要の高いタイのお客様へバンkok(タイ)ー千歳(北海道)線を定期チャーターで運航するなど、需要にあわせた展開を行いました。

九州産交グループ



▲桜町再開発(イメージ)

引き続きお客様本位のサービスの提供に努めてまいりましたが、熊本地震による路線・高速バス運行の一部変更・運休などに加え、桜町再開発事業の本格スタートによる交通センター事業及びホテル事業の休止等の影響を受けました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成28年10月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	233,531	流動負債	102,805
現金及び預金	159,011	営業未払金	18,744
売掛金	24,063	旅行前受金	53,293
営業未収入金	8,084	その他	30,766
旅行前払金	24,387	固定負債	134,440
その他	17,984	社債	20,000
		転換社債型新株予約権付社債	20,113
		その他	94,326
		負債合計	237,245
固定資産	98,670	純資産の部	
有形固定資産	62,291	株主資本	81,491
無形固定資産	5,556	資本金	11,000
投資その他の資産	30,822	資本剰余金	3,665
		利益剰余金	80,988
		自己株式	△14,162
		その他の包括利益累計額	△1,899
		新株予約権	77
繰延資産	183	非支配株主持分	15,470
		純資産合計	95,139
資産合計	332,385	負債純資産合計	332,385

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書 (平成27年11月1日から平成28年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,181
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,460
現金及び現金同等物の増加額	16,430
現金及び現金同等物の期首残高	113,330
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	81
現金及び現金同等物の期末残高	129,842

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (平成27年11月1日から平成28年10月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
売上高	523,705
売上原価	418,661
売上総利益	105,044
販売費及び一般管理費	90,769
営業利益	14,274
営業外収益	2,998
営業外費用	8,624
経常利益	8,648
特別損失	3,541
税金等調整前当期純利益	5,107
法人税等	3,801
当期純利益	1,305
非支配株主に帰属する当期純利益	1,038
親会社株主に帰属する当期純利益	267

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成28年10月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	88,551,450 株
発行済株式の総数	68,522,936 株
株主数	15,608 名

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
澤田 秀雄	19,136	30.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,347	8.63
有限会社 秀インター	3,403	5.49
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,040	4.91
全国共済農業協同組合連合会	1,334	2.15
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,139	1.84
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,079	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,061	1.71
行方 一正	1,021	1.65
澤田 まゆみ	950	1.53

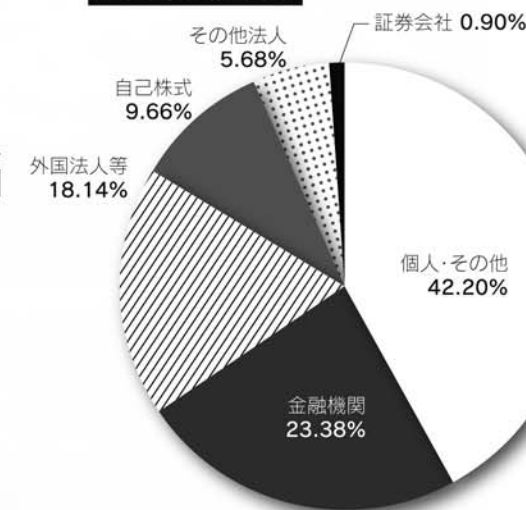
(注)当社は自己株式(6,621,916株)を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社 エイチ・アイ・エス
英文社名	H.I.S.Co.,Ltd.
本店	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月19日
資本金	110億円
従業員数(連結)	10,845名(この他に、契約社員、見習社員、アルバイトが在籍しております。)
主要な事業内容	旅行業法に基づく旅行業(観光庁長官登録旅行業第724号)を営んでおり、海外旅行業務及び国内旅行業務、航空券の取次販売、手配旅行、企画旅行及びこれらに伴う現地手配と渡航手続並びに旅行傷害保険の代理業務を行っております。
国内・海外拠点数	国内 295拠点/海外 66カ国 141都市 230拠点
ホームページ	http://www.his-j.com

株式分布状況

所有者別株式分布状況



会社役員

代表取締役会長	澤田 秀雄
代表取締役社長	平林 朗
専務取締役	楠原 成基
常務取締役	中森 達也
取締役	中谷 茂
取締役	坂口 克彦
取締役	山野 淳
取締役	織田 正幸
取締役	高木 潔
取締役相談役	行方 一正
取締役監査等委員	平田 雅彦
取締役監査等委員	梅田 常和
取締役監査等委員	関田 園子

(注)取締役監査等委員 平田雅彦氏、梅田常和氏は、社外取締役であります。